

<令和7年10月定例記者会見>

1 開催日時

令和7年10月8日（水）午前10時30分～午前11時00分

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、読売新聞社、岩手日報社

4 発表事項

（1）キッズ健幸アンバサダー養成講座の開講について（健康づくり課）

市内の小学校でキッズ健幸アンバサダー養成講座を開講します。

この事業は、有識者とオリンピック・パラリンピアンが講師となり、児童生徒に健康維持の大切さ、スポーツのすばらしさや楽しさを伝え、健康づくりの伝道師である「キッズ健幸アンバサダー」を養成するものです。キッズ健幸アンバサダーに就任した子どもたちは、学んだことを家族などの身近な人に伝え、一緒に運動を続けることで、家庭や地域に健康づくりの輪を広げていきます。

授業の一環とすることで、運動が得意な子・苦手な子にもスポーツに触れる機会を提供し、児童生徒の運動リテラシーを向上させることも目的のひとつです。

講師としてオリンピックとパラリンピアン2人をお招きします。オリンピックは、陸上競技で2008年北京オリンピックに出場し、4×100メートルリレーで銀メダルを獲得した朝原宣治(あさはらのぶはる)さん、パラリンピアンは2016年リオオリンピック車椅子ラグビー銅メダリストの庄子健(しょうじたけし)さんです。

なお、事業の実施には、公益財団法人ライフスポーツ財団のこども活動支援金を活用しています。

（2）たきざわオータムライド自転車巡り旅について（観光物産課）

滝沢市観光物産協会では、10月25日（土）に「たきざわオータムライド自転車巡り旅」を行います。

長く続いた暑さも和らぎ、日中でも積極的に体を動かしたくなる季節となりました。

昨秋と今春に実施し、大好評だった e-bike(イーバイク)によるサイクリングイベントを今秋も開催します。ぜひご参加ください。

（3）第47回チャグチャグ馬コ写真コンテスト入賞作品カレンダー2026の販売について（観光物産課）

滝沢市観光物産協会では、第47回チャグチャグ馬コ写真コンテスト入賞作品カレンダー2026の販売を開始しました。

7月24日（木）に行われた写真コンテスト審査会において、入賞した作品12点を月毎に掲載しております。

販売価格は1部1,500円（税込）で、ネットショップ「チャグまるしえ滝沢」、ビッググループ滝沢内の協会窓口で販売するほか、ふるさと納税返礼品として登録される予定となっています。

(4)「滝沢ミライプロジェクト2025」の実施について（若者活躍推進室）

地域に興味を持つ学生が地域づくり活動に関わる機会を提供することで、若者が地域の方々とつながり、滝沢市へ愛着をもち、自らの視点を取り入れ活躍する場を創出することを目指すための事業である「滝沢ミライプロジェクト2025」を実施します。

この事業は今年で3回目となるもので、本年度は高校生や大学生に加えて専門学生も対象とすることとしております。

今年は学生同士の交流会やアイデア発表会を通して、学生が主体的にテーマを決め、3月のプレゼンコンテストを目指して活動します。

すでに10月4日（土）から事業を開始しておりますが、この発表後に学生が参加を希望した場合には10月18日（土）のアイデア発表会まで申し込みを受け付けたいと考えております。

また、滝沢ミライプロジェクトで行う実践活動に今年度より若者の想いを実現するために創設しました若者応援補助金を活用することが可能です。

事業の周知及び取材についてよろしくお願いたします。

(5)「チャグジョブ滝沢2025 お仕事体験事業」の開催について（企業振興課）

市内の小学校に通う子どもを対象とする、滝沢市商工会青年部・滝沢市商工会主催の「チャグジョブ滝沢2025 お仕事体験事業」を滝沢総合公園体育館にて、11月2日（日）に開催することとしております。

本イベントは、職業体験イベントを通して市内企業等の周知を図るとともに、子どもたちの健全な育成に資することを目的として実施するものです。

当日は市内事業者を中心とした22者が出展予定であり、子どもたちのお仕事体験を受け入れることとなっています。

なお、本イベントは事前登録が必要となります。本日20時より受付を開始いたします。事業の周知及び取材についてよろしくお願いたします。

(6)「2025芸術祭たきざわ」の開催について（文化振興課）

この芸術祭では、市民の皆さんの優れた文化芸術活動の成果を発表する機会と、広く市民の皆さんに芸術を鑑賞する機会を提供することで、滝沢市の芸術文化の振興を図ります。

11月2日（日）から11月17日（月）までの期間中、演劇、舞踊・芸能、音楽・ダンス、展示の発表をビッグルーフ滝沢にて開催します。

また、市内小中学校作品展を、展示部門と同時開催いたします。たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：キッズ健幸アンバサダー養成講座について、今年で何回目の開催でしょうか。また、受講後には認定証のようなものがもらえるのですか。

健康づくり課長：オリンピックを招いての開催は令和5年度からで、今年度で3回目です。受講後にはアンバサダー認定式があり、カードタイプの認定証が渡されます。

記者：認定証をもらった後の活動などはあるのでしょうか。

健康づくり課長：当該年度中、キッズ健幸アンバサダーの日記のようなものを書いていただきます。家族など身近な人に、どのように運動の大切さや健康の大切さを伝えたかを書いて提出していただきます。そのあとも随時、健康について伝えていただく役割を担っていただきます。

記者：タキザワミライプロジェクトについて、10月4日からスタートしているとのことですが、現時点での参加者は何人ですか。

若者活躍推進室長：今回のミライプロジェクトは定員を設けていません。理由としてはチーム編成を何人でも組めるようにしてあるためです。参加者について、初回は急遽来られなかった生徒もおり、5人でした。2回目は8人ほどになる予定です。

記者：昨年度の参加者は何人でしたか。

若者活躍推進室長：26人参加し、6チームでした。今年度は都合がつかなかった、盛岡北高の生徒が昨年度は半数近くを占めていました。今年度は、岩手医大や盛岡中央高校など、昨年度は申し込みがなかった学校からの参加があります。

市長：昨年度のプレゼンで、盛岡北高の生徒からの「滝沢市の特産品を使用したグラノーラ」のアイデアが印象に残っています。商品化までいってほしいという期待がありますが、どうなるか私も楽しみです。

記者：昨年度のアイデアで実現されたものはありますか。

若者活躍推進室長：これから動き出すところです。各チームの実践活動に伴走支援する方が付くので、市としても協力しながら、今年度末までに実現を目指しています。

記者：チャグジョブについて、これまでも実施していた事業でしょうか。

企業振興課長：今年度で3回目の開催です。この事業は、当初から市商工会が主体的に行っているものです。

記者：芸術祭たきざわについて、劇団ゆうとは、滝沢市にゆかりのある劇団なのでしょうか。

文化振興課長：滝沢市を中心に活動している団体です。毎年、芸術祭たきざわでは演劇を行っていただいています。

市長：滝沢市だけではなく、復興支援で沿岸での公演を行ったりもしています。県外で公演したこともあり、以前、岩手日報社から賞を頂いたこともあると記憶しています。

記者：キッズ健幸アンバサダー養成講座について、3回目とのことでしたが、前回招いたオリンピックはどのような方だったのでしょうか。メダリストだったのでしょうか。

健康づくり課長：令和5年度はオリンピックが有森裕子（ありもりゆうこ：陸上競技マラソン）さん、パラリンピアンが三阪洋行（みさかひろゆき：車椅子ラグビー）さんです。令和6年度はオリンピックが長谷川大悟（はせがわだいご：陸上競技三段跳）さん、パラリンピアンは庄子健（しょうじたけし：車椅子ラグビー）さんです。昨年度はメダリストではなかったのですが、今年度は、再びメダリストを依頼し、朝原さんをお願いしたところです。

市長：補足ですが、先日行われた県中学生駅伝大会において、男子の部では1位から3位までが滝沢市の学校でした。女子も2位に滝沢市の学校が入賞し、奮闘しました。このような機会を通じ、陸上競技のプロの方から教えていただくことで、自分の成長に

役立ってくれれば良いと考えています。市内の中学生が大活躍しているので、これからもこのような機会を生かして、各々の力を伸ばしていければと思っています。

教育次長：県駅伝大会の結果は、男子の部は第1位が滝沢南中学校、第2位が滝沢中学校、第3位が滝沢第二中学校で、女子の部は、第2位に滝沢中学校が入っています。全国大会出場は1位の学校のみで、3位までが東北大会出場となります。

6 その他記者からの当日質問

記者：岩手山噴火警戒レベル引き上げから一年が経過しましたが、その後の動きはありますか。

市長：入山不可の旨を皆さんにしっかりお知らせし、気を緩めずやっていきたいと思っています。今後、岩手山がどのような状態になっていくかは計り知れないので、決められたルールを皆さんに分かるように周知を行っていくとともに、随時、情報収集しながら運用していく所存です。来年の山開きまで、落ち着いて情報提供しながら待ちたいと思っています。